

一般国道475号東海環状自動車道 とよたひがし みのせき (豊田東JCT ~ 美濃関JCT間)

受賞機関

国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所
 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
 国土交通省中部地方整備局愛知国道事務所
 国土交通省中部地方整備局名四国道事務所
 日本道路公団中部支社岐阜工事事務所
 日本道路公団中部支社豊田工事事務所

はじめに

東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30~40km圏に位置する愛知・岐阜・三重県の諸都市を連絡する環状道路で、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道、伊勢湾岸自動車道(第二東名・名神高速道路)の高速自動車国道と一体となってネットワークを形成する延長約160kmの一般国道の自動車専用道路である。

このうち、東海環状自動車道全体の約45%にあたる、伊勢湾岸自動車道の豊田東JCTから東海北陸自動車道的美濃関JCTまでの東部区間73kmについて、国土交通省と日本道路公団による合併施行により、平成17年3月19日に開通した。

計画の概要

- 道路規格：第1種第2級 設計速度100km/h
- 車線数：豊田東JCT~土岐JCT 4車線
土岐JCT~美濃関JCT 暫定2車線
- 事業期間：平成元年度~平成16年度
- 事業費：約6,700億円

事業の概要及び効果

今回開通した地域は、愛知・岐阜県の豊かな自然に恵まれた丘陵地帯であり、事業実施にあたっては、貴重種であるシデコブシ等の移植や郷土種であるドングリ等による法面緑化など自然環境・景観に十分配慮した対策を実施した。

また、岐阜県可児・御嵩地区での亜炭炭坑である本線地下100m以深までの空洞の充填をはじめ、わが国初の全線無導坑めがねトンネルである五ヶ丘トンネルの施工、暫定2車線区間におけるトンネル灯具の自動清掃を可能にする照明灯具清掃ロボットの開発など、全線にわたり、最新の技術を採用入れ、コスト縮減、工期の短縮、ライフサイクルコストの削減を図っている。

本道路の整備により、これまで名古屋市内を単に通過していた交通が、東海環状自動車道に迂回することにより、名古屋都市圏の渋滞が緩和されたのをはじめ、名古屋圏内の諸都市相互の連携の強化と諸都市間の移動が短縮され、「ものづくりの地域」であるこれら地域の産業基盤の充実や通勤圏の拡大が期待されるとともに、名古屋港や中部国際空港へのアクセスが向上した。

また、名古屋を中心とする放射幹線道路等での非常時(災害、事故)など交通障害時における迂回路としても活用することが可能となった。

なお、現在開催中の「愛・地球博」のP&R駐車場が、豊田藤岡IC付近に設置されており、マイカー利用来場者の主要なアクセス道路として活躍している。

賛助会員 (株)アイ・エヌ・イー、アイサワ工業(株)、青木あすなる建設(株)、安部工業所、安藤建設(株)、石黒建設(株)、(株)市川工務店、(株)ウエスコ、梅林建設(株)、(株)大本組、(株)奥村組、奥村組土木興業(株)、(株)ガイアートT・K、開発コンサルタント(株)、株木建設、木原建設(株)、極東工業(株)、(株)熊谷組、(株)建設技術研究所、(財)建設物価調査会、(株)鴻池組、五洋建設(株)、佐伯建設工業(株)、(株)白石、新構造技術(株)、世紀東急工業(株)、(株)銭高組、セントラルコンサルタント(株)、大成ロテック(株)、(株)ダイヤコンサルタント、大有建設(株)、(株)竹中土木、玉野総合コンサルタント(株)、(株)地崎工業、地崎道路(株)、(株)長大、(株)千代田コンサルタント、鉄建建設(株)、東亜建設工業(株)、東亜道路工業(株)、東京エンジニアリング(株)、(株)東京建設コンサルタント、東洋ランドテクノ(株)、戸田建設(株)、飛鳥建設(株)、西松建設(株)、(株)NIPPOコーポレーション、日本技術開発(株)、日本建設コンサルタント(株)、日本鋼弦コンクリート(株)、日本国土開発(株)、日本道路(株)、(社)日本道路建設業協会、(株)日本ピーエス、(株)ノバック、(株)間組、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)ピーエス三菱、福井鐵工(株)、(株)福田組、福田道路(株)、(株)フジタ、(株)復建エンジニアリング、前田建設工業(株)、前田道路(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三井住建道路(株)、三井住友建設(株)、みらい建設工業(株)、名工建設(株)、ライト工業(株)、りんかい日産建設(株)

